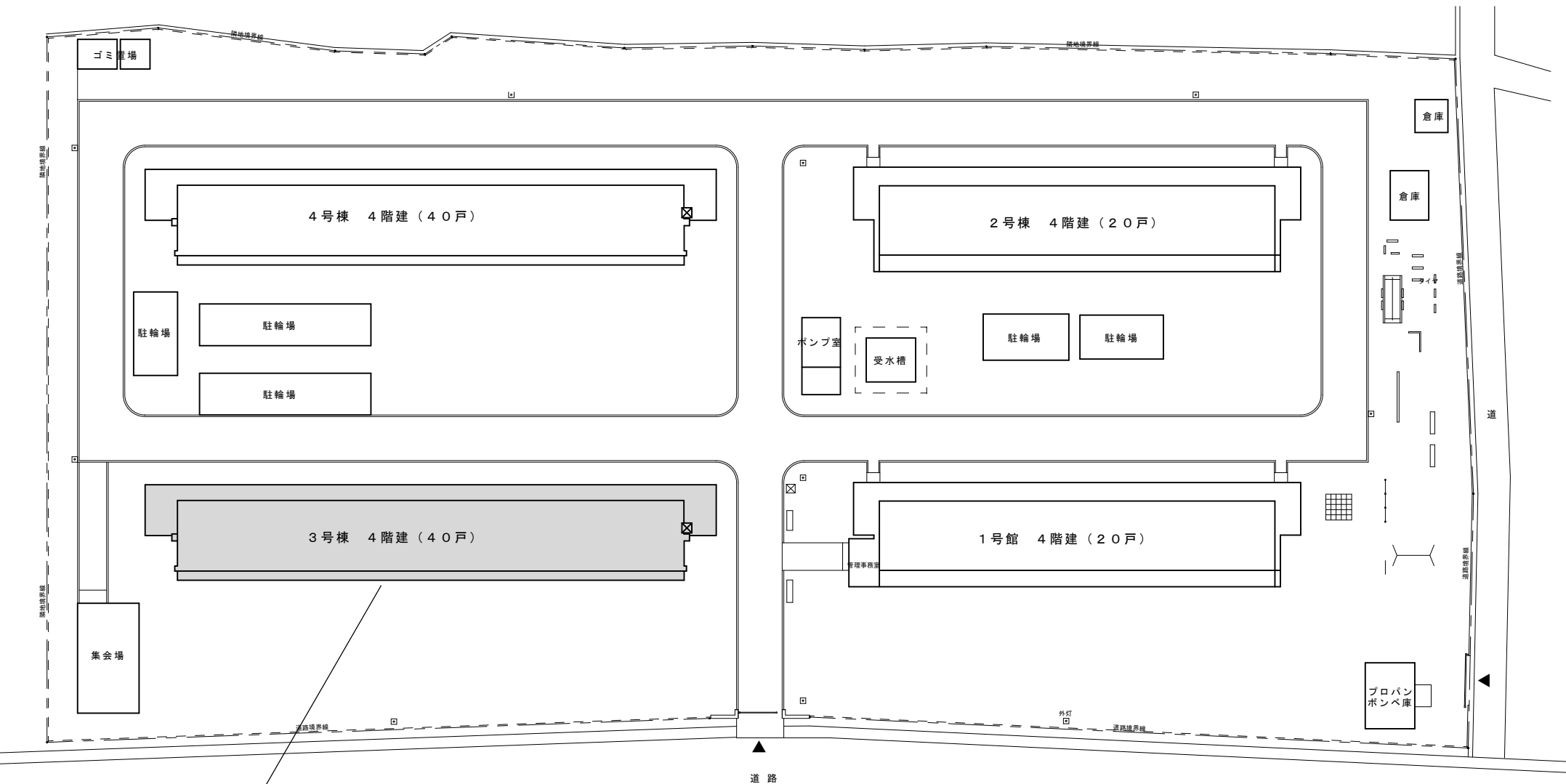




施工場所：上町住宅3号館
甲府市上町1248番地



案内図 S=1:free



施工箇所：3号館

配置図 S=1:500

7

塗装改修工事

①

材料

壁内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※ 規制対象外 ・ 第三種

②

下地調整

[7.2.2～7][表 7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種類	備 考
木部	・ R A種 ※ R B種	
鉄鋼面	・ R A種 ⑤ R B種	
亜鉛めっき面	・ R A種 ※ R B種	
亜鉛めっき面（鋼製建具）	※ R B種 ・ R C種	
モルタル、プラスター面	・ R A種 ⑤ R B種	
コンクリート、A L Cパネル面	・ R A種 ※ R B種	(2-UE) 、(2-ASE) 及び (2-FUE) は除く

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修

[表 7.2.4～6]

※ 行わない 〇 行う（補修範囲及び補修方法は外壁調査後協議し必要に応じて決定する）

3

合成樹脂顔合
ペイント塗り

新規鉄面の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

[7.4.4][表 7.4.2]

4

フタル酸樹脂
エナメル塗り

新規木部の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

[7.6.2][表 7.6.1]

新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種類

[7.6.3][表 7.6.2]

・ A種 ※ B種

⑤

2液形ポリウレタン
エナメル塗り

下地の種類

下地調整

下塗り

中塗り・上塗り

備 考

既存鉄鋼面

R B種[表 7.2.2]

JIS K 5551
又は 2 液塗
JASS108-109

JIS K 5658
又は
JIS K 5659

既存V F 面

R C種[表 7.2.2]

プライマー

JIS K 5658
又は
JIS K 5659

※塗装仕様については、塗料メーカーの仕様を原則とし、監督員と協議すること。

6

7714/120樹脂
エナメル塗り

新規鋼製建具等 ※ B種

[7.10.2][表 7.10.1～3]

7

常温乾燥形ふっ素樹脂
エナメル塗り

[7.11.2～4][表 7.11.1～3]

下地の種類	新規塗りの種類	塗り替えの種類	備 考
鉄面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	
亜鉛めっき面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	

⑧

つや有合成樹脂
エマルジョン
ペイント塗り

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

[7.9.4][表 7.9.3]

9

合成樹脂Emulsion
ペイント塗り

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

[7.13.2][表 7.13.1]

10

合成樹脂Emulsion
模様塗り

新規の塗りの種類 ・ A種 ※ B種

[7.14.2][表 7.14.1]

塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種 別
合成樹脂エマルジョン模様塗り	※ R B種	※ A種
	・ R C種	※ C-3種
平滑な塗料塗り	※ R B種	・ A種 ・ B種
	・ R C種	・ C-1種 ・ C-2種

11

アクリル樹脂系
非水分散型塗料塗り

[7.7.2][表 7.7.1]

下地の種類	新規塗りの種類	塗り替えの種類	備 考
コンクリート及びモルタル面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	

8

その他

①

居ながら工事

工事中の住戸は、居住者が居るため、工事中の入居者の通行を確保すると共に、安全対策には、十分配慮すること。

②

収付け養生

外壁吹付け時には、足場養生シートによる十分な飛散防止対策を行うとともに、住人の駐車車両についても、車両用ビニールカバーで覆うなどの十分な対策をとること。
また、ベランダに設置のエアコン屋外機についても必要な養生を行うこと。
なお、万が一、飛散による苦情及び被害があった場合には、施工者にて誠実に対応すること。

③

仮設工事

別途発注の屋上防水改修工事があるため、仮設足場の使用を協議し足場使用の承諾を行うこと。
また、工事期間の相違がある場合は、昇降足場分について引継ぎ等協議を行うこと。

9

アスベスト除去工事

1

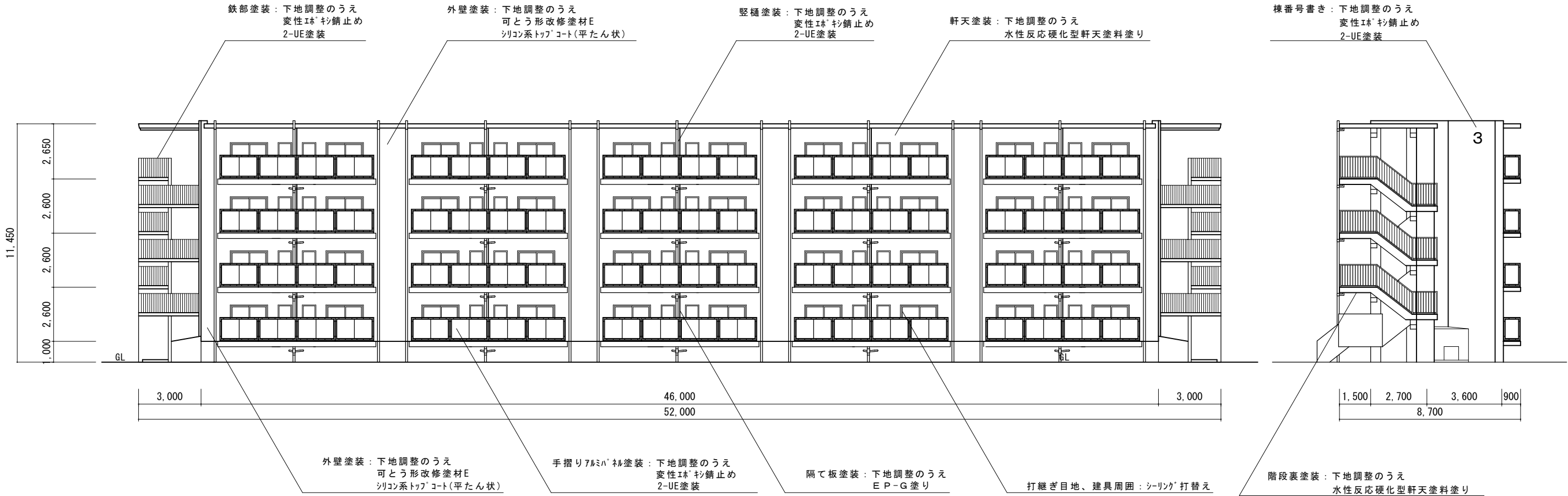
アスベスト含有仕上塗材が使用されている外壁改修工事

外壁の改修にあつては、「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの」石綿粉塵飛散防止処理技術指針（国立研究開発法人建築研究所）」（以下「技術指針」）に基づき行う。
○施工方法
・アスベスト含有仕上塗材の除去は、技術指針で隔離養生は必要ないとされている工法で行う。
（剥離剤併用手工具ケレン工法及び集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法）
・外壁面の洗浄は飛散のおそれのない水圧（15MPa以下）で行う。
・アスベスト含有仕上塗材が施工されている部分に対し、切断、穿孔等の作業を行う場合は、事前に仕上塗材を除去した上で施工する。
・集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法で使用する集塵装置は、HEPAフィルターを使用し、粉塵を除去する方法とする。
・作業時の剥離養生及びセキュリティゾーンの設置は不要。
・アスベスト含有仕上塗材の除去を行う者は、防護服及び防護マスク（フィルターはR13又はRS3以上）を着用する。
・作業終了時に（作業エリアを出る際）使用した防護服は特別管理産業廃棄物として廃棄する。
（作業エリア内で袋詰め）
・集塵機フィルターなどの粉塵が付着した消耗品の交換を行う際には、集積した粉塵を再飛散させないよう、グローブバッグを使用するなどの措置を行う。
○簡易養生
・アスベスト含有仕上塗材の除去を行う場合は、作業エリアを明確にし、施工カ所周辺の汚損を防止するための養生（以下「簡易養生」という）を行う。 ※養生設置箇所（皿、足場板、手摺りなど）
○石綿濃度測定
・環境省の石綿飛散防止マニュアルの記載に準ずる方法で測定すること。
・測定箇所、時期は次のとおりとする。

測定時期	測定箇所	測定点
処理作業前	作業エリア付近（養生外）	4点
処理作業中	作業エリア付近（養生外）	4点

※測定箇所は監督員と協議し確定すること
○その他
・着工前に施工方法、簡易養生、石綿濃度測定について事前に監督員と協議すること。

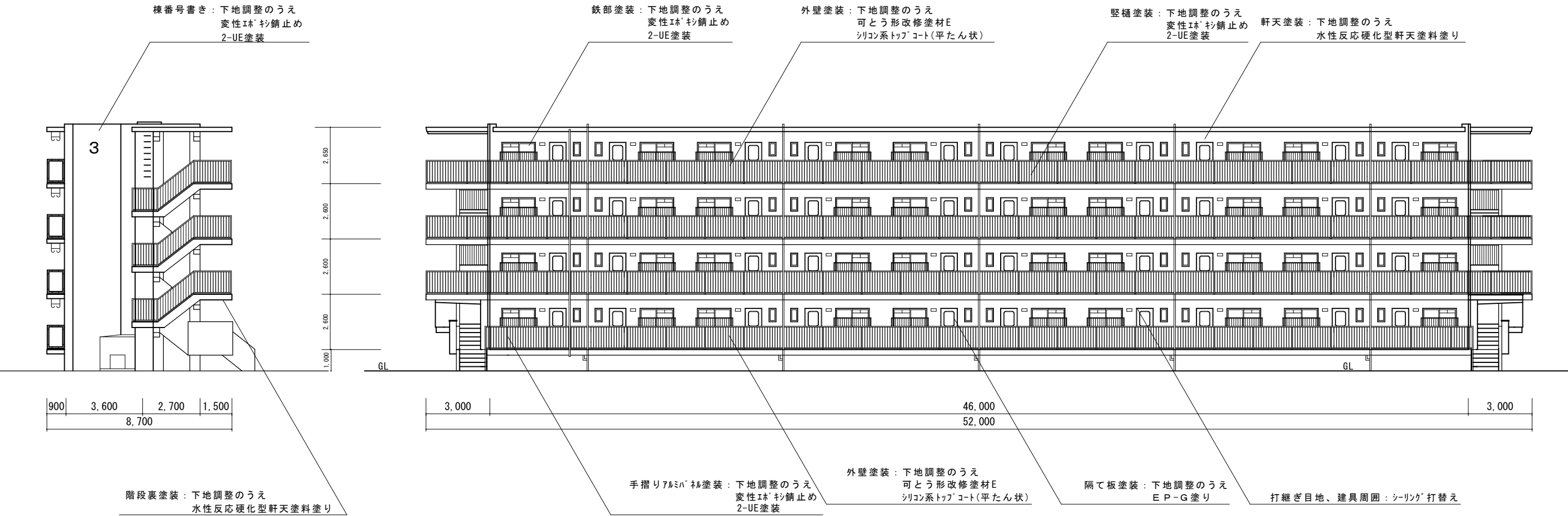
※上町住宅3号館は、調査の結果アスベスト含有はありません。



南立面図 S=1:200

側面図 S=1:200

外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・隔て板塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） EP-G塗り	・既存シーリング撤去 打継ぎ目地
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケレン 清掃 目荒し共	・縦樋、排水管塗装 鉄鋼面 B種 変性Iホキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリクレン樹脂系Iホ2回塗	・既存シーリング撤去 建具周囲
・浮き部補修 一般部 9本/㎡ 注入口付アンカーベジニング部分Iホキシ樹脂注入工法	・縦樋、排水管塗装 硬質塩化ビニール管面 B種 下地調整RB種 ホリクレン樹脂系Iホ2回塗	・清掃及び水洗い 既存防水面（バルコニー、共用廊下、階段、管理人室底）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカーベジニング部分Iホキシ樹脂注入工法	・鋼製建具塗装 鉄鋼面 B種 変性Iホキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリクレン樹脂系Iホ2回塗	・笠木ホリクレン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラスク入） 非歩行用カーケレンゴム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性Iホキシ樹脂充填	・スチール枠ス類塗装 鉄鋼面 B種 変性Iホキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリクレン樹脂系Iホ2回塗	・バランス釜面ホリクレン塗膜防水 X-2（密着工法がラスク入） 非歩行用カーケレンゴム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 カットシール材充填工法 可とう性Iホキシ樹脂充填	・物干し金物塗装 鉄鋼面 L-50×50 L=750 B種 変性Iホキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリクレン樹脂系Iホ2回塗	・シーリング打ち 打継ぎ目地
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・手摺りアルミバネ塗装 鉄鋼面 B種 変性Iホキシプライマー 下地調整RB種 ホリクレン樹脂系Iホ2回塗	・シーリング打ち 建具周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・中継ドレン塗装 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 変性Iホキシ塗料塗り	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・棟番号書き 両面各1ヶ所	防鳥ネット取付
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂モルタル充填	・避難誘導ステッカー貼 隔て板 150×400 材工共	・新規防鳥ネット取付部屋については、監督員からの指示に従うこと
・外壁、庇破風塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート（平たん状）		・既存防鳥ネット一時撤去、再設置については、監督員と協議すること
・軒天、庇裏、階段室壁、段裏塗装 下地調整のうえ、水性反応硬化形塗料塗り		



側 面 図 S=1:200

南 立 面 図 S=1:200

外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・隔て板塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） EP-G塗り	・既存シーリング撤去 打継ぎ目地
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケレン 清掃 目荒し共	・縦樋、排水管塗装 鉄鋼面 B種 変性EP樹脂塗止め1回 下地調整RB種 樹脂系樹脂系EP樹脂2回塗	・既存シーリング撤去 建具周囲
・浮き部補修 一般部 9本/m 注入口付アンカーベジニング部分EP樹脂注入工法	・縦樋、排水管塗装 硬質塩化ビニル管面 B種 下地調整RB種 樹脂系樹脂系EP樹脂2回塗	・清掃及び水洗い 既存防水面（バルコニー、共用廊下、階段、管理人室庇）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカーベジニング部分EP樹脂注入工法	・鋼製建具塗装 鉄鋼面 B種 変性EP樹脂塗止め1回 下地調整RB種 樹脂系樹脂系EP樹脂2回塗	・笠木樹脂塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラス材入） 非歩行用カーケルゴム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性EP樹脂樹脂充填	・スチールヤスリ類塗装 鉄鋼面 B種 変性EP樹脂塗止め1回 下地調整RB種 樹脂系樹脂系EP樹脂2回塗	・バランス釜面樹脂塗膜防水 X-2（密着工法がラス材入） 非歩行用カーケルゴム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 ウレタン材充填工法 可とう性EP樹脂樹脂充填	・物干し金物塗装 鉄鋼面 L=50×50 L=750 B種 変性EP樹脂塗止め1回 下地調整RB種 樹脂系樹脂系EP樹脂2回塗	・シーリング打ち 打継ぎ目地
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂樹脂充填	・手摺りアルミパネル塗装 鉄鋼面 B種 変性EP樹脂プライマー 下地調整RB種 樹脂系樹脂系EP樹脂2回塗	・シーリング打ち 建具周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂樹脂充填	・中継ドレン塗装 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 変性EP樹脂塗料塗り	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂樹脂充填	・棟番号書き 両面各1ヶ所	防鳥ネット取付
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂樹脂充填	・避難誘導ステッカー貼 隔て板 150×400 材工共	・新規防鳥ネット取付部屋については、監督員からの指示にしたがうこと
・外壁、庇破風塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート（平たん状）		・既存防鳥ネット一時撤去、再設置については、監督員と協議すること
・軒天、庇裏、階段室壁、段裏塗装 下地調整のうえ、水性反応硬化型軒天塗料塗り		